

2017年度 地理学教室 卒業論文発表会プログラム

日時: 2018年2月1日(木)9:08~

場所: 国際交流会館大会議室

発表: 1人15分(うち討論は3分) 1飾10分、2飾12分、3飾15分

(中間発表は1人12分(1飾6分、2飾8分、3飾12分))

地理学教室教務委員会

	発表時間	氏名	卒論題目	研究室
中間	9:08 ~ 9:20	渡邊 杏奈	富士相模川泥流堆積物と陽原段丘構成層に含まれる砂礫の特徴の比較	地形地質
1	9:20 ~ 9:35	大山 貴恵	立川断層南部周辺における立川段丘区分と断層地形に関する再検討	地形地質
2	9:35 ~ 9:50	平峰 玲緒奈	トカラ列島諏訪之瀬島のテフラ層序と噴火様式の変遷について	地形地質
3	9:50 ~ 10:05	遠藤 紗花	多摩川流域における閃緑岩礫の供給源の推定-分布と形状に着目して-	地形地質
4	10:05 ~ 10:20	齋藤 有希	小型UAVを用いた三次元森林モデル作成手法に関する研究~ハヶ岳山麓カラマツ林を対象に~	地理情報
5	10:20 ~ 10:35	長谷川 聖矢	日本近海におけるマイクロ波散乱計MetOp-B/ASCATの精度検証	地理情報
休憩				
6	10:45 ~ 11:00	横山 歩武	郊外地域が抱える課題に対する開発事業の在り方-神奈川県座間市における団地再生事業を事例に-	都市人文
7	11:00 ~ 11:15	石川 美駒	二段階集団避難方式を考慮した避難場所立地に関する研究-東京都世田谷区北沢地区周辺を対象として-	地理情報
8	11:15 ~ 11:30	村上 和輝	関東圏の閉店した店舗の要因-都心と郊外における閉店要因の違い-	都市人文
9	11:30 ~ 11:45	松山 凱	REIT参加が与える物流への影響 -関東圏の物流施設を対象に-	都市人文
10	11:45 ~ 12:00	横井 友香	多摩川におけるカワラノギクを取り巻く環境と分布特性	環境
11	12:00 ~ 12:15	下地 美紀	沖縄県中南部の若者におけるウチナーヤマトグチ使用	都市人文
昼休み				
12	13:00 ~ 13:15	湯浅 玲於奈	宮城県 松島を対象とした津波避難シミュレーション	地理情報
13	13:15 ~ 13:30	遠藤 彩夏	那須火山群における山体崩壊発生域と岩屑なだれ到達域の推測	地形地質
14	13:30 ~ 13:45	木村 洋太郎	河床礫の円磨度に関する基礎的研究-河原の地形と円磨度の関係、相模川水系を例に-	地形地質
15	13:45 ~ 14:00	水谷 圭佑	埼玉県熊谷市周辺における地形と地下構造に着目した地震に対する危険箇所の推定	地形地質
16	14:15 ~ 14:30	高野 圭佑	日暮里繊維街における繊維問屋の変遷と今	都市人文
17	14:30 ~ 14:45	大塚 翔太	北海道における降雪深の長期変化	気候
休憩				
18	14:55 ~ 15:10	前川 晃毅	三重県における高齢人口移動の考察	都市人文
19	15:10 ~ 15:25	田沼 夏美	地球温暖化に伴う干ばつの将来変化と地域性	気候
20	15:25 ~ 15:40	松浦 果菜	北西太平洋におけるENSO発生時の熱帯低気圧に関する大気大循環モデルの再現性	気候
21	15:40 ~ 15:55	野間 丈史	東京都心部における大名屋敷跡地の土地利用変遷	都市人文
22	15:55 ~ 16:10	堀田 優美	震災前後の熊本城を取り巻く変化-復興過程を見せる観光、今こそ見てほしい熊本城-	都市人文
休憩				
23	16:20 ~ 16:35	周 冠雄	日本における中国「四大料理」の継承と変容-新宿の中国料理店10軒への聞き取り調査をもとに	都市人文
24	16:35 ~ 16:50	坂和 佑一	秋留台地の湧水:なぜ電気伝導度は減少しているのか?	地理情報
25	16:50 ~ 17:05	及川 滉介	集中豪雪時にも可降水量の変化が見られるのか?-北海道を事例にして-	地理情報
26	17:05 ~ 17:20	神田 笙太	21世紀初頭における東京大都市圏の通勤パターンの変化	都市人文
27	17:20 ~ 17:35	福嶋 アダム	南関東における海陸風の交替時刻の変遷	気候
終了				

卒論生は責任を持って会場にパソコンを運び、各自の発表までにプレゼンテーション用ファイルを転送しておくこと。

発表会終了後、地理学教室資料室において、大学院生による卒論製本講習会があるので、卒論生は必ず出席すること。